

雫石町コミュニティ・スクール通信

雫石町教育委員会 令和7年 2月発行

社会福祉協議会事業 しろやぎさんホットレター×雫石中学校×雫石高校

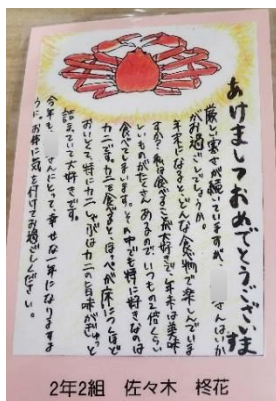
読み手を想像し、まごころ伝える年賀状

雫石中学校全校生徒は社会福祉協議会の福祉事業と連携して75歳以上の一人暮らし高齢者の方に、年賀状を書いて届けています。暑中見舞いと年賀状を同じ方に書くことで、年間を通し交流しています。生徒の国語力の向上にもなり、お年寄りに寄り添うことで情操教育につながる取り組みになっています。生徒の数に対し、対象となるお年寄りが年々多くなり、2年生は一人で二人の方にハガキを書いています。今年度は、社会福祉協議会が雫石高校にも声掛けし、2、3年生有志が年賀状に取り組みました。

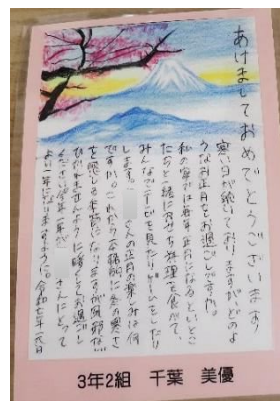
中学校では生徒が出したハガキの中から、生徒会が賞を決めています。文章に心がこもっているか、絵や文字の丁寧さに気持ちが込められているか、というのが選考の基準になっています。



1年4組 田屋 鏡子



2年2組 佐々木 桜花



3年2組 千葉 美優

最優秀賞 三点

最優秀賞、生徒会長賞の他、

ユーモア賞 3点

おいし賞 4点

かわいい賞 6点

画伯賞 9点

及川賞 4点

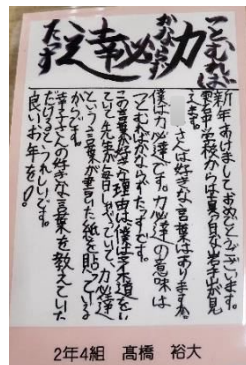
美文字賞 12点

福祉担当煙山賞 2点を選出

生徒会長賞 三点



1年4組 小田 璃杏



2年4組 高橋 裕大



3年3組 中村 彩月

もらった嬉しくなるのはどれかな？



入賞作品を選ぶ雫石中生徒会

入賞作品と地域の方からのお返事は、図書室に掲示し、生徒も嬉しそうに読んでいます



令和6年度 雫石町 CS 意見交流会開催

2月12日(水)、中央公民館で令和6年度雫石町コミュニティ・スクール意見交流会が開催されました。町内小中学校の学校運営協議会委員や教員、地域づくり担当者、集落支援員、教育委員会が集まり、各学校が地域学校協働活動や地域と学校の連携活動を報告しました。

子どものアイデアや地域の意見から活動を展開したり、メディアを活用して活動の様子を発信するなど、他校の実践を知り、交流する機会になりました。

秋田県生涯学習センターの皆川雅仁氏から「雫石町の学校は、マンネリ化しない活動を展開している。地域と学校が子どもの成長を軸に目標を共有し、子どもも含め話し合い、都度確認しながら地域学校協働活動を展開していくことが期待される」と講評をいただきました。

中学校の実践発表の様子



質問する参加者



講評を述べる皆川氏

学校支援活動 西山小学校・七ツ森小学校

地域に支えられるスキー学習

西山小学校1年生17名は、スキー教室までの4日間、地域の4名の方からスキーの基本を教えてくださいました。西山小にはスキー山がなく、長い斜面での練習が出来なかったのですが、今年は学校運営協議会委員が(株)菊池工業に呼びかけ、ダンプ延べ18台分の雪を岩手高原スキー場から校庭に運び、一日がかりでスキー山を作りました。地域の方の指導のもと、1年生は大きなスキー山で登る、滑る、止まるの練習をすることができました。

西山小学校のスキー学習支援



ロータリー車を2台配備し、ダンプ3台×6往復。岩手高原スキー場との交渉も(株)菊池工業が行いました

ハの字で止まってごらん!



【スキー学習支援】

おだたかし 小田隆さん やちさかえ 谷地栄さん
なかがわあきひろ 中川昭弘さん いとうあまきこ 伊藤昭子さん

【スキー山作り】もりあいまさひと 森合栄仁さん
中川昭弘さん (株)菊池工業



七ツ森小学校スワンスロープ

七ツ森小学校は校舎裏のスワンスロープでスキー学習をしています。夏場に2回、保護者や地域の方々が刈り払い作業を行い、児童のスキー学習を支えてくださっています。